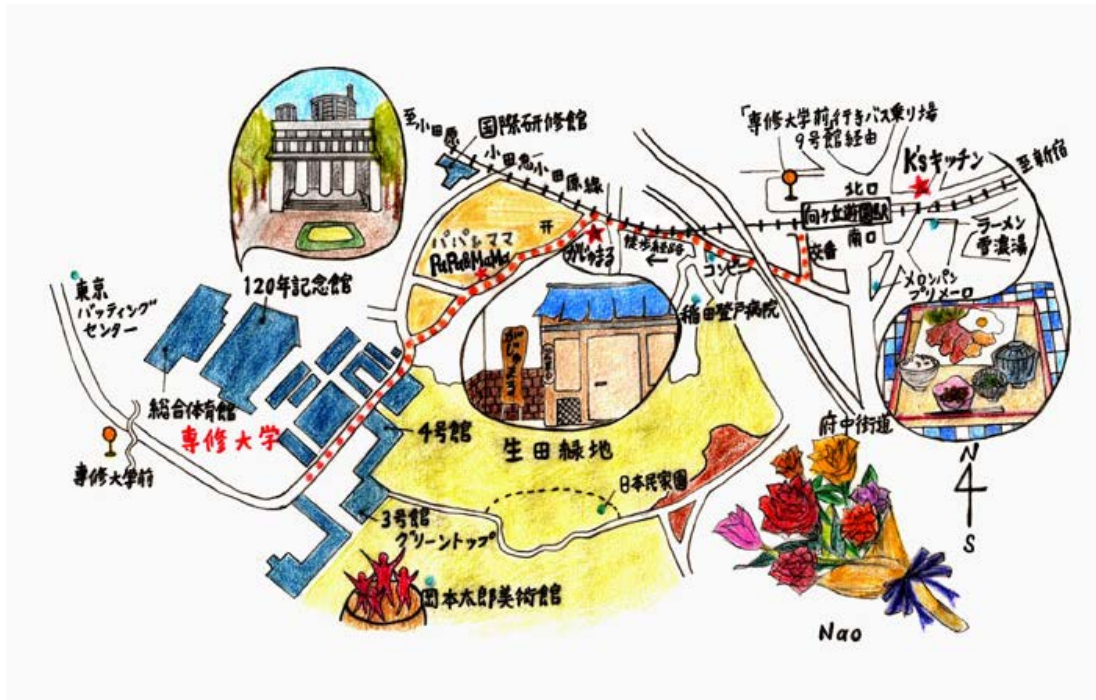


## 新入生におすすめ！ 生田キャンパススポット



生田キャンパスとその周辺のおすすめスポットを、文学部の嶋根克己ゼミ生にルポしてもらった。学内施設はもちろん、「私だけが知っている」行きつけの店、こだわりの店、心休まる眺めのいいところ……を紹介。新入生の皆さんもそんな自分だけの場所を見つけ、勉学や課外活動を充実した彩りあるものにしてほしい。〈上のイラストマップ：笹川奈央(平17文)〉

### 眺めのいい場所 夜景抜群の9号館屋上



生田キャンパスは緑豊かな「山」の上に建っている。キャンパスからの眺めは良く、すばらしい景色を見ることが出来る場所が多い。

中でもおすすめは、120年記念館(9号館)の屋上。開放感のあるこの場所からは、街並と自然とが適度に混在する美しい景色を眺めることが出来、ベンチで学生がおしゃべりを楽しむ場にもなっている。日が沈むと夜景もきれいで、ライトアップされ最高にリラックス出来る。カップル出現率高し！私はレポートで行き詰まった時には必ず、この場所に来ることにしている。ここで考えると頭が冴えてパツとアイデアが閃くのだ。

穴場は4号館5階

4号館5階の上にある喫煙所はあまり知られていないが、ここからもすばらしい眺めが楽しめる。四方すべてが窓ガラスで囲まれており、360度のパノラマが広がっている。天気が良ければ富士山が見えることも。

キャンパスの東側には生田緑地が広がっており、四季折々の姿を楽しめる。視界いっぱいの自然は雄大で、緑地内には大阪万博「太陽の塔」で有名な岡本太郎美術館がある。静かな「山」の中で見るアートは、

何かを感じるはずだ。

生田キャンパスには紹介した以外にも素晴らしい眺めの場所がある。自分だけのお気に入りの景色を探してみるのも大学生活を豊かにする方法のひとつだろう。(有岡修平・4年)

---

## 学内施設—図書館、情報科学センター、総合体育館

### 学術図書が豊富 図書館本館

図書館の本館の入口は9号館3階にある。3階のカウンターの横にもう一つカウンターがあり、そこがファレンス・カウンターだ。質問はここで。4階には、AVプラザがある。視聴覚資料だけでなく情報検索コーナーがあり、CD-ROMや有料のデータベースが利用出来る。M3階と2階は書庫となっている。M3階には、学術雑誌のバックナンバーが所蔵されている。これらのフロアには、あまり人が来ないので勉強に集中できる。特に2階は静かなのでおすすめ。(鈴木豊美・4年)

### パソコン講座開設 情報科学センター端末室

生田校舎の主な端末は9号館の4階と6階、1号館1階に設置されている。1号館はほとんどがネットワーク情報学部生専用で注意が必要だが、端末室1については、平日は21時まで利用出来る。センターでは4月から順次、「エクセル」「ホームページ作成」「プログラミング」などの各種講座を開講するので、パソコン操作のレベルアップにぜひ、利用しよう。

### トレーニング施設充実 総合体育館

9号館奥にある赤茶色の建物が総合体育館。体育の授業やサークル活動の利用以外にも「アクア & フィットネス会員」に登録(新規3000円)すれば、プール(25メートル×8コース)と70種類以上の機器を揃えたトレーニングルームが空き時間に使用できる。プールは会員以外でも一回300円で。昼休みの気分転換に利用してはいかが。

---

## 界限こだわりの店

### 「Ksキッチン」

「いらっしやいませ！」の声に迎えられ、ジャズのBGMが耳に心地よいお店。「定食屋さん」でありながら温かくてホッとできる空間が、「Ksキッチン」だ。店長の鈴木恵代さんを中心に「柔らかい雰囲気」「女性が一人でも入りやすい」点を大切にしている。

メニューは豊富で、「おいしい」「安い」「ボリューム満点」と男子学生にとってもうれしい限り。人気メニューは「K-1定食」と「K-2定食」(共に630円)。目玉焼き、生姜焼きをベースにK-1には唐揚げ、K-2にはハムカツが付くという豪華版だ。麦とろごはんに豆腐ハンバーグ、豆腐サラダなどが付く「ヘルルシー定食」(840円)や日替わり定食(525円)もあるので、毎日通ってもバラエティに富んだ味が楽しめる。学生の常連も多く、友達同士やゼミ生と一緒に空腹を満たしに訪れるなどさまざま。「もりもり食べたい」人にも「ゆっくり食事を楽しみたい」人にもおすすめの店。

営業時間 11:00~22:00。定休日なし。電話044・932・3841 (勝部淳子・4年)

### パパアンドママ

生田キャンパスに向かう坂道の途中に建つ南欧風白壁の家の一室を開放したホームギャラリー「パパアンドママ」。古美術商の資格を持つオーナー今井光代さんが目利きしたアンティークの食器や小物、洋服をはじめ作家ものの陶器も並んでいる。今井さんは「学生の皆さんも気軽に立ち寄って」と話す。不定期でジャズやシャンソンのコンサートも開いている。訪店の際には事前に電話を。電話 044・922・4850 (高橋幸子・大学院文学研究科修士課程1年)

### がじゅまる

「看板だけでは、どんな店だか分からない」——とお店に入るのをためらう人も多いのでは。向ヶ丘遊園駅から大学に向かう途中にある「がじゅまる」。珍しい奄美大島料理の店だ。「鶏飯(けいはん)料理を知ってほしい」と同島出身の江坂千和子さんが5年前に開業、一人で切り盛りをしている。住宅をそのまま店として使用している店内は15席あり、履物を脱いであがる。実際入ってみると雰囲気はとても家庭的だ。看板料理の鶏飯(840円)は、ご飯の上に細くさばいた鶏肉、錦糸玉子、野菜などの具を乗せ一羽まるごと煮込んだ鶏スープ(日向の地鶏使用)をかけてお茶漬けのようなスタイルでいただく。奄美地方のもてなし料理だったが、今では家庭料理として親しまれている。電車に乗ってわざわざ訪ねてくる人もいる。専大の教職員にもファンが多く、ゼミの先生に連れられて訪れる学生も。ソーキそばなどの沖縄料理も充実。営業時間11:30~15:00、17:00~20:00。月曜定休。電話 044・922・5639 (尾崎研司・4年)

## 国際研修館 — 留学生の良き相談相手RAが常駐 —

ポリーヌ・シェリエ(文学部特別聴講生=仏リュミエール・リヨン第2大学)



▲RAと談笑する留学生(円内はポリーヌさん)

生田キャンパスから徒歩10分ほどの国際研修館で生活しています。ここでは日本人の学生レジデント・アシスタント(以下RA)が、私たちと一緒に生活しながら留学生の生活を支えてくれます。

新しい留学生に日本での生活を説明するのがRAの役割。同館での生活の仕方、道順、駅の周り、スーパーや市役所、銀行など私たちの生活に欠かせない場所を教えてください。銀行口座の開設や携帯電話の契約……にも相談に乗ってくれます。また、コンピュータールームの使い方や食堂での食事の仕方などキャンパスライフについても親切に教えてください。私たちが受講している「日本語・日本事情プログラム」でも会話の相手になってくれます。

留学生間のコミュニケーションがうまくいかない時にも問題の解決にあたってくれます。RAは、留学生と大学(国際交流センター)を仲介する不可欠なパイプ役なのです。RAに質問すると「国際研修館での生活は忙しいけれど、いろいろと経験できて楽しい」と答えてくれました。

ほかに、私たち留学生は日常会話での練習相手になってくれるカンパセーション・パートナーを必要としています。留学生交流に関心のある人は、国際交流センター(9号館5階)にぜひ来てください。

【ニュース専修2005年4月号8面】